

令和4年度（就労継続B型事業所）すていじ仙台 事業報告

1、施設概要

所在地	仙台市泉区高森七丁目1-4
利用定員	40名
設置主体	社会福祉法人チャレンジドらいふ

2、本事業所の支援理念

ノーマリゼーションの理念を基本に、利用者の人権を尊重し、心身の自立を目指すとともに、利用者ひとり一人の意思が決定できるよう支援に努めた。又社会の一員として地域において心豊かに生活することができるよう支援に努めた。

3、事業内容

(1) 個別支援

- ・就労支援活動（販売・配達、レストランでの接客、施設外就労等）を通し、一人ひとりの自主性・自発性の向上に努めた。

(2) 日常生活支援

- ・約束事である「あいうえおルール」を朝の会、帰りの会に各班で唱和し、「社会人」として必要な基本マナーの習得に努めた。

(3) 生産活動支援

- ・レストランの運営とお弁当やスイーツの販売を行った。また季節商品を考案しチラシを作る等して販売促進に努めた。
- ・コロナ禍でレストランの来客やお弁当の注文が減った為、チラシを作成しポスティングを行い収入につなげた。
- ・ヨシケイのシート拭き、しそ巻き作業、カーテンテープ作業、匠ソリューションズの商品封入作業等の受託作業と新たにリサイクル売却を始め収入につなげた。
- ・規程に基づき月々の工賃と3回にわたる賞与の支給を行った。

(4) 地域交流支援

- ・コロナウィルス感染防止の観点から地域の市民センター・児童館、高森東夏まつり等イベントの大部分が中止となり地域住民との交流を図ることが出来なかった。

(5) 利用者及び家族に対する相談支援

- ・個別支援計画作成時の面談や必要に応じた面談、相談を行った。

(6) 余暇関連

余暇活動	活動日	主な活動内容（発表・披露・参加）
合唱	第2・4木曜日	コロナウィルス感染防止の為中止
すずめ踊り	第2・4月曜日	コロナウィルス感染防止の為中止
ストライキング エクササイズ	第3木曜日	コロナウィルス感染防止の為中止
利用者自治会	第4金曜日	コロナウィルス感染防止の為中止
仙団協・諸団体の余暇活動参加		コロナウィルス感染防止の為中止

4、主たる利用者と利用者の状況（令和5年3月31日現在）

(1) 登録者数 25名

(2) 利用者障害支援区分

区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
0名	0名	0名	14名	8名	3名	0名

(3) 通所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用契約者数(人)	35	34	34	34	33	33	29	28	27	27	26	25	30.4
開所日数(日)	22	22	22	22	22	22	22	22	22	21	20	22	261
延通所者数(人)	630	597	657	627	597	585	516	502	494	479	454	482	6620
1日平均利用者人数(人)	28.6	27.1	29.9	28.5	27.1	26.6	23.5	22.8	22.5	22.8	22.7	21.9	25.4
利用率(%) (1日平均利用者/登録者)	81.8	79.8	87.8	83.8	82.2	80.6	80.9	81.5	83.2	84.5	87.3	87.6	83.4

5、主な行事

No.	開催・参加・販売行事	開催日時	内容及び参加者数
1	マルシェ	5/28(土)	販売訓練、利用者親睦交流 利用者26名
2	マルシェ(第2回)	11/19(土)	販売訓練、利用者親睦交流 利用者21名
3	クリスマス会	12/17(土)	季節行事 利用者20名
4	成人を祝う会	1/6(金)	成人利用者1名 保護者会役員 利用者25名

6、事業担当職員（職員構成：令和5年3月31日現在）

施設長	常勤	1名
サービス管理責任者	常勤	1名(兼務)
生活支援員	常勤	2名 非常勤 5名
医師	非常勤嘱託	1名
栄養士	非常勤	1名
調理員	常勤	2名(兼務1名)
調理補助員	非常勤	5名(兼務)

7、緊急時の対応

防災計画に基づき、防災訓練（避難訓練 年2回）を実施し、非常時に備えた。

8、令和5年度からの事業所の体制変更に関して

令和4年5月21日（土）白石理事長より保護者説明会を実施。その後、定期的に面談や説明会を実施し、多機能型事業所から生活介護事業所に体制が変更になることに対し賛同をいただく。令和5年2月24日、仙台市役所に就労支援B型事業所の廃止届を提出し受理となる。令和5年3月3日に生活介護事業所の定員10名から35名に変更届を提出。

令和5年4月より生活介護事業所（定員35名）で事業開始となる。

令和4年度（生活介護事業所）すていじ仙台 事業報告

1、施設概要

所在地	仙台市泉区高森七丁目1-4
利用定員	10名
設置主体	社会福祉法人チャレンジドらいふ

2、本事業所の支援理念

ノーマリゼーションの理念を基本に、利用者の人権を尊重し、心身の自立を目指すとともに、利用者ひとり一人の意思が決定できるよう支援に努めた。又社会の一員として地域において心豊かに生活することができるよう支援に努めた。

3、事業内容

(1) 日常活動への支援

- ・ 個々人の能力及び、特性に応じた作業内容を取り入れ、工賃または本人支給金を還元した。
- ・ 利用者の活動意欲と潜在能力の喚起を目指す活動を取り入れ支援した。

(2) 日常生活上の援助

- ・ 個々の状況に応じ、食事、排泄、身体介護、健康管理等の日常生活に関する援助に努めた。
- ・ 個々の状況に応じた創作活動や、身体機能、生活能力の向上に関する援助に努めた。

(3) 生産活動支援

- ・ 受託作業であるヨシケイ宮城のシート拭き取り（株）スプレッツのチラシ封入作業、匠ソリューションズの商品封入、リサイクル売却や銅線の皮むき・飲料水の販売を主な作業・活動とし、収入につなげた。

(4) 地域交流支援

- ・ コロナウィルス感染防止の観点から地域の市民センター・児童館、高森東夏まつり等イベントの大部分が中止となり地域住民との交流を図ることが出来なかった。

(5) 利用者及び家族に対する相談支援

- ・ 個別支援計画作成時の面談や必要に応じた面談、相談を行った。

(6) 余暇関連

余暇活動	活動日	主な活動内容（発表・披露・参加）
合唱	第2・4木曜日	コロナウィルス感染防止の為中止
すずめ踊り	第2・4月曜日	コロナウィルス感染防止の為中止
ストライキング エクササイズ	第3水曜日	コロナウィルス感染防止の為中止
利用者自治会	第4金曜日	コロナウィルス感染防止の為中止
仙団連・諸団体の余暇活動参加		コロナウィルス感染防止の為中止

4、主たる利用者と利用者の状況（令和5年3月31日現在）

(1) 登録者数 11名

(2) 利用者障害支援区分

区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
0名	0名	0名	3名	4名	4名	0名

(3) 通所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用契約者数(人)	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
開所日数(日)	22	22	22	22	22	22	22	22	22	21	20	22	261
延通所者数(人)	205	196	216	214	188	215	208	193	202	180	190	216	2423
1日平均利用者人数(人)	9.3	8.9	9.8	9.7	8.6	9.8	9.5	8.8	9.2	8.6	9.5	9.8	9.3
利用率(%) (1日平均利用者/登録者)	84.7	81.0	89.3	88.4	77.7	88.8	86.0	79.8	83.5	77.9	86.4	89.3	84.4

5、年間行事

No.	開催・参加・販売行事	開催日時	内容及び参加者数
1	マルシェ	5/28(土)	販売訓練、利用者親睦交流 利用者6名
2	マルシェ(第2回)	11/19(土)	販売訓練、利用者親睦交流 利用者6名
3	クリスマス会	12/17(土)	季節行事 利用者6名
4	成人を祝う会	1/6(金)	成人利用者1名 保護者会役員 利用者10名

6、事業担当職員(職員構成:令和5年3月31日現在)

施設長	常勤	1名		
サービス管理責任者	常勤	1名(兼務)		
生活支援員	常勤	4名		
医師	非常勤嘱託	1名		
看護職員	常勤	0名	非常勤	2名
栄養士	非常勤	1名		
調理員	常勤	2名(兼務1名)		
調理員補助	非常勤	5名(兼務)		

7、緊急時の対応

防災計画に基づき、防災訓練(避難訓練6月・11月)を実施し、非常時に備えた。

8、令和5年度からの事業所の体制変更に関して

令和4年5月21日(土)白石理事長より保護者説明会を実施。その後、定期的に面談や説明会を実施し、多機能型事業所から生活介護事業所に体制が変更になることに対し賛同をいただく。令和5年2月24日、仙台市役所に就労支援B型事業所の廃止届を提出し受理となる。令和5年3月3日に生活介護事業所の定員10名から35名に変更届を提出。

令和5年4月より生活介護事業所(定員35名)で事業開始となる。

令和4年度（生活介護事業所）フォレスターナ仙台 事業報告

1 施設概要

所在地	仙台市泉区高森7丁目1-2
利用定員	30名
設置主体	社会福祉法人チャレンジドらいふ

2 本事業所の支援理念

ノーマライゼーションの理念を基本に、利用者の人権を尊重し、心身の自立を目指すことともに、利用者ひとり一人の意思が決定できるよう支援に努めた。又社会の一員として地域において心豊かに生活することができるよう支援に努めた。

3 事業内容

(1) 個別支援

- ① 個人の障害特性や能力に応じた創作・軽作業活動を取り入れ、利用者に適した支援を図ることに努めた。
- ② 利用者の活動意欲と潜在能力が喚起できる作業及び訓練内容と支援体制の整備を図ることに努めた。

(2) 日常生活支援

- ① 個人の状況に応じ、食事、排泄、身体介護、健康管理等の日常生活に必要な援助に努めた。
- ② 個人の状況に応じた創作活動や身体機能または、生活能力の向上に必要な援助に努めた。

(3) 生産活動支援

- ① 個人の障害特性や能力に応じた活動メニューを取り入れた支援を行った。
- ② 個人の活動意欲と潜在能力が喚起できる訓練に努めた。

(4) 地域交流支援

- ① 地域の住民、ゲートボール場利用者に対して、休憩スペース（地域交流室）の貸し出しを行った。

(5) 利用者及び家族に対する相談支援

- ① 利用者の家族が抱える不安や悩み等に対し、相談・助言、情報提供等の支援に努めた。

(6) 余暇関連(コロナ感染防止のため中止)

余暇活動	活動日	目的
パーカッション	隔週 月曜日	様々な楽器に触れ、音楽を楽しみ、リズム感を養った
ストライキング エクササイズ	毎週 水曜日	運動等による機能の維持と体力増強に努めた
ボイストレーニング	毎週 火曜日	発声トレーニングにより、発語・滑舌の訓練に努めた
音楽ワークショップ	隔週 火曜日	音楽に合わせて体を動かし、表現する力を培った。
他機関企画の行事等	随時	スポーツ大会・サークル活動等への参加は見合わせた。

コロナ感染予防のため、外部講師は中止とし、リトミックやカラオケといった施設内での余暇活動

4 主たる利用者と利用者の状況（令和5年3月31日現在）

(1) 登録者数 32名

(2) 利用者障害支援区分

区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
0名	0名	0名	3名	2名	12名	15名	32名

(3) 通所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用契約者数(人)	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32
開所日数(日)	22	22	22	22	22	18	22	22	22	21	20	22	257
延通所者数(人)	580	564	599	577	544	444	592	548	493	526	527	595	6589
1日平均利用者人数(人)	26. 4	25. 6	27. 2	26. 2	24. 7	24.7	26.9	24.9	22. 4	25. 0	26. 4	27. 0	25.6
利用率(%)	82.	80.	85.	82.	77.	77.1	84.1	77.8	70.	78.	82.	84.	82.7
(1日平均利用者/定員)	4	1	1	0	3				0	3	3	5	

5 年間行事

No.	開催・参加・行事	開催日時	参加対象	主な内容
1	花見	各部屋ごと	利用者 32名	季節行事 (桂島緑地、南川ダム等)
2	施設見学	コロナ感染症流行のため中止		
3	七夕会	令和4年 8月4日(木)	利用者 28名	季節行事(ゲーム大会)
4	芋煮会	令和4年10月19日(水) 10月21日(金)	利用者 15名 利用者 16名	季節行事 (ゲートボール場にて開催)
5	ピュア・ハーツ	コロナ感染症流行のため中止		
6	クリスマス会	令和4年12月14日(水)	利用者 20名	季節行事 (ゲーム大会)
7	初詣	コロナ感染症流行のため中止		
8	成人を祝う会	令和5年 1月10日(水)	利用者 26名	季節行事 (新成人を祝う会)
9	節分	令和5年 2月3日(金)	利用者 28名	季節行事 (豆まき、茶話会)
10	ひなまつり	令和4年 3月3日(木)	利用者 26名	季節行事 (桃の貼り絵、しおり制作)
備考				
・コロナ感染症が流行していたため、外出行事の実施は取りやめた。				

6 事業担当職員（職員構成：令和5年 3月31日現在）

施設長	常勤兼務	1名
サービス管理責任者	常勤	1名
生活支援員	常勤	12名（中央タクシー職員2名を含む）
	常勤兼務	2名
	非常勤	2名
医師	非常勤嘱託	1名
看護職員	常勤	0名
	非常勤	3名
事務員	常勤兼務	1名
栄養士	非常勤兼務	1名
調理員	非常勤兼務	2名

7 緊急時の対応

- ① 防災計画に基づき、防災訓練（避難訓練 年2回）を実施し、非常時に備えた。

令和4年度 生活介護事業所 フォレスターナ若林 事業報告

1、施設概要

所在地	仙台市若林区卸町東2丁目5-16
利用定員	30名
設置主体	社会福祉法人 チャレンジドらいふ

2、本事業所の支援理念

ノーマリゼーションの理念を基本に、利用者の人権を尊重し、心身の自立を目指すとともに利用者ひとり一人の意思が決定できるよう支援に努めた。また社会の一員として地域において心豊かに生活することができるよう支援に努めた。

3、事業内容

(1) 個別支援

- ① 利用者ひとり一人の能力・特性・ニーズに応じた支援の提供と、潜在能力の助長に努めた。
- ② 利用者の健康管理に配慮しながら活動を支援し、事業所への安定した通所に努めた。

(2) 日常生活支援

- ① 利用者ひとり一人の状況に応じた、食事・排泄・身体介護・健康管理等、日常生活に関する援助に努めた。
- ② 利用者ひとり一人の状況に応じた創作活動を提供し、身体機能または、生活能力の向上を目指した支援に努めた。

(3) 生産活動支援

- ① 利用者ひとり一人の障害特性や能力に応じた活動メニューを取り入れた支援を行った。
- ② 利用者の活動意欲と、潜在能力が喚起できる訓練に努めた。

(4) 地域交流支援

- ① 日中活動を通して近隣の事業所の職員や地域の住民とふれあい交流を図った。

(5) 利用者及び家族に対する相談支援

- ① 利用者の家族が抱える不安や悩み等に対し、相談・助言、情報提供等の支援に努めた。

(6) 余暇関連

余暇活動	活動日	目的
ストライキング エクササイズ	毎週水曜日 または木曜日	運動等による機能の維持と体力増強に努めた
誕生日会	毎月	誕生日者のお祝い、会食を実施した

4、主たる利用者と利用者の状況（令和5年3月31日現在）

1) 登録者数 34名

(2) 利用者障害支援区分

区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
0名	0名	0名	0名	4名	8名	22名	34名

(3) 通所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用契約者数(人)	36	36	35	35	35	35	35	34	34	34	34	34	
開所日数(日)	22	22	22	22	22	22	22	22	22	21	20	12	261
延通所者数(人)	625	609	670	654	606	602	639	603	581	538	538	518	7,183
1日平均利用者人数(人)	28.4	27.7	30.5	29.7	27.5	27.4	29.0	27.4	26.4	25.6	26.9	23.5	27.5
利用率(%) (1日平均利用者/登録者)	78.9	76.9	87.0	84.9	78.7	78.2	83.0	80.6	77.7	75.4	79.1	69.3	79.2

5、年間行事

No.	開催・参加・販売行事	開催日時	参加対象	主な内容
1	七夕会	令和4年7月6日(水)	利用者32名	季節行事
2	納涼会	令和4年8月31日(水)	利用者32名	季節行事
3	ハロウィンパーティー	令和4年10月26日(水)	利用者32名	季節行事
4	クリスマス会	令和4年12月21日(水)	利用者27名	季節行事
5	成人を祝う会	令和5年1月11日(水)	新成人1名	成人者の紹介、記念撮影
6	節分	令和5年2月1日(水)	利用者28名	季節行事

上記のほか、利用者の誕生会、カラオケを実施した。
 予定していた外出行事は、今年度も新型コロナウイルス感染予防のため中止した。

6、事業担当職員(職員構成:令和5年3月31日現在)

施設長	常勤 1名(兼務)
施設長代理	常勤 1名
サービス管理責任者	常勤 1名
生活支援員	常勤 13名(中央タクシー職員 3名を含む) 非常勤 4名
医師	非常勤嘱託 1名
看護職員	常勤 1名(派遣契約社員) 非常勤 3名(派遣契約社員 1名を含む)
栄養士	非常勤 1名(兼務)
調理員	常勤 2名 非常勤 1名
運転手	非常勤 1名

7、緊急時の対応

- ① 防災計画に基づき、年2回(6/22,12/22)防災訓練(地震、火災、水害)を実施し、非常時に備えた。

令和4年度（就労継続B型事業所）ふれあい福祉作業所 事業報告

1、施設概要

所在地	仙台市泉区高森7丁目2番 ショッピングガーデン・キャラウェイ内
利用定員	20名
設置主体	社会福祉法人チャレンジドらいふ

2、本事業所の支援理念

ノーマライゼーションの理念を基本に、利用者の人権を尊重し、心身の自立を目指すとともに、利用者ひとり一人の意思が決定できるよう支援に努めた。又、社会の一員として地域において心豊かに生活することができるよう支援に努めた。

3、事業内容

(1) 個別支援

就労支援活動(農業、販売、施設外就労等)を通し、一人ひとりの自主性・自発性の向上に努めた。

(2) 日常生活支援

施設外就労や地域での販売会を通して「社会人」として必要な基本マナーの習得に努めた。
手洗い・うがい・検温を徹底しコロナウィルス感染予防・衛生管理に努めた。

(3) 生産活動支援

農作物の生産・販売、・ヨシケイ宮城での施設外就労、受託作業を中心に生産活動を行い、毎月の工賃の支給を行った。

(4) 利用者及び家族に対する相談支援

個別支援計画作成時の面談や必要に応じた面談、相談を行った。

(5) QC活動

今年度は、「緑水亭」清掃業務を成功させよう ～やる気あふれる作業場を目指して～
を職員と利用者が共に協力し合い取り組みました。

4、主たる利用者と利用者の状況（令和5年3月31日現在）

(1) 登録者数 16名

(2) 利用者障害支援区分

区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
5名	1名	2名	6名	2名	0名	0名

(3) 通所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用契約者数(人)	17	16	16	15	15	15	16	17	17	16	16	16	16
開所日数(日)	22	22	22	22	22	22	22	22	22	21	20	22	261
延通所者数(人)	296	271	277	274	223	254	289	292	295	269	259	292	3,291
1日平均利用者人数(人)	17.4	16.9	17.3	18.2	14.8	16.9	18.0	17.1	17.3	16.8	16.1	18.2	17.0
利用率(%) (1日平均利用者/定員)	79.1	77.0	78.7	83.0	67.6	77.0	82.1	78.1	78.9	76.4	80.9	83.0	78.5

5、主な行事

コロナウィルス感染症予防のため、今年度も全体での行事は中止しました。

6、事業担当職員(職員構成:令和5年3月31日現在)

施設長	常勤	1名		
サービス管理責任者	常勤	1名		
生活支援員	常勤	3名	非常勤	2名
医師	非常勤嘱託	1名		

7、緊急時の対応

ショッピングガーデン・キャラウェイでの防災計画に基づき、防災訓練(避難訓練)を年2回、実施し、非常時に備えた。

令和4年度 グループホームやまてまち（共同生活援助）事業報告

1、施設概要

所在地	やまてまち…青葉区山手町 28-32（定員 12 名） きくたまち…青葉区菊田町 10-28（定員 6 名） かみやがり…泉区上谷刈字治郎兵衛下 48-16（定員 10 名） やまてまちⅡ…青葉区山手町 17-8（定員 7 名） さくらがおか…青葉区桜ヶ丘 3-22-18（定員 7 名） かわだいら…青葉区川平 4-30-30（定員 5 名） サテライトやまてまち…青葉区山手町 1-8（定員 1 名）
設置主体	社会福祉法人チャレンジドらいふ

2、本事業所の支援理念

「すべての人が役割を持ち、認め合える社会へ」の法人理念の実現のため、利用者の人権を尊重し、心身の自立を目指すとともに、利用者ひとり一人が意思決定できるよう支援に努めた。又社会の一員として地域において輝いて生活することができるよう、利用者ひとり一人の個性に合わせ支援に努めた。

3、事業内容

(1) 個別支援

- ・個別支援計画を基に、入居者の障害特性や性格に応じて、それぞれの自立に向けたサービスを提供した。

(2) 日常生活支援

- ・障害特性や状況に応じて、洗髪、軟膏塗布、通院等の身体介護を含む支援や、服薬管理等日常生活に必要な支援や、生活能力の向上（それぞれの自立）に向けた支援に努めた。
- ・健康状態を日々確認するとともに、バランスの取れた献立作成及び食事提供を行った。
- ・コロナ禍において、利用者、職員ともに手洗いうがい、消毒、検温の徹底等感染予防に努めた。

(3) 関係機関、職場との連携

- ・ご家族、相談支援事業所や通院先、通所先、就労先、訪問看護事業所、財産管理等の関係機関等との連絡調整を行った。

(4) 利用者及び家族に対する相談支援

- ・生活、就労、余暇、財産管理、心身の不調等の様々な相談に対して、必要に応じた支援及び関係機関の紹介を行った。

(5) 余暇関連

- ・コロナ禍のため、ホーム毎誕生会、季節行事に留め実施した。

4、主たる利用者と利用者の状況（令和5年3月31日現在）

(1) 登録者数 44名(定員48名)

(2) 利用者障害支援区分

区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
0名	0名	14名	17名	9名	4名	0名

(3) 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定員(人)	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	48	…
利用契約者数(人)	45	45	45	44	44	44	44	44	45	45	45	44	…
開所日数(日)	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
延利用者数(人)	1273	1276	1262	1282	1259	1236	1222	1216	1277	1283	1202	1297	15085
1日平均利用者人数 (人)	42.5	41.2	42.1	41.4	40.7	41.2	39.5	40.6	41.2	41.4	43.0	41.9	41.4
利用率(%)	88.1%	85.7%	87.3%	86.1%	84.6%	85.5%	82.1%	84.2%	85.8%	86.2%	89.4%	87.1%	86.1%

5、事業担当職員（職員構成：令和5年3月31日現在）

管理者	常勤 1名（兼務）
サービス管理責任者	常勤 2名（専従1名、兼務1名）
生活支援員	常勤 2名（兼務）、非常勤 1名（兼務）
宿直	非常勤 1名
世話人	常勤 4名 非常勤 9名

6、緊急時の対応

- ①防災計画に基づき、防災訓練（避難訓練）を実施し、非常時に備えた。
- ②非常災害時(震度5強以上の地震等)、安否確認を行った。
- ③コロナ陽性者判明時は、事前に想定していたゾーニングを実施し、感染拡大に努めた。

令和4年度（就労継続B型事業所）ボーノボーノ大崎東 事業報告

1、施設概要

所在地	宮城県大崎市鹿島台船越字鍋田50-2
利用定員	20名
設置主体	社会福祉法人チャレンジドらいふ

2、本事業所の支援理念

ノーマリゼーションの理念を基本に、利用者の人権を尊重し、心身の自立を目指すとともに、利用者ひとり一人の意思が決定できるよう支援に努めた。又社会の一員として地域において心豊かに生活することができるよう支援に努めた。

3、事業内容

(1) 個別支援

一人ひとりのニーズによって、日頃の就労支援活動（野菜の収穫、販売、施設外就労等）を通し、自主性・自発性を養成し、「社会人として必要な基礎力」の向上に努めました。

(2) 日常生活支援

約束事である「ボーノボーノルール」、「ボーノボーノ約束事」を朝の会で唱和し、マナーの習得に努めた。また、健康・体力維持のため一日3食の食事を摂るように指導しています。

(3) 生産活動支援

- ・収穫した野菜の販売(おてんとさん、JA)、及び栽培した花(マリーゴールド、パンジー)を地元の行政区等への販売促進に努めた。
- ・リサイクル作業、ギフト作り作業、法人内施設清掃作業、施設外就労作業、個人宅草取り作業、雪掃き作業を行った。
- ・南郷高校産業技術科の生徒の皆さんと、農福連携の取り組みとして、シクラメンの鉢花の共同栽培に取り組んだ。販売も合同で行い、利用者の作業意欲の向上に繋がった。
- ・3/31に期末手当を支給した。

地域交流支援

年に2回地域での清掃作業を行っています。

(4) 利用者及び家族に対する相談支援

個別支援計画(ケアプラン)作成時の面談、また、2ヶ月に一回の面談、相談を行いました。

(5) QC活動

今年度は、「コロナに負けるな！自立に向けた衛生管理 自分たちで習慣を身につけよう」をテーマに、職員・利用者共に協力して取り組み、優秀賞を受賞することができた。

(6) 余暇関連

余暇活動	活動日	目的
映画鑑賞、カラオケ	不定期	コロナウィルス感染防止のため中止
外出行事、障害者スポーツ大会	他事業所見学、鹿島台互市	コロナウィルス感染防止のため中止

4、主たる利用者と利用者の状況（令和5年3月31日現在）

(1) 登録者数 22名

(2) 利用者障害支援区分

区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
10名	1名	8名	0名	3名	0名	0名

(3) 通所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用契約者数(人)	24	24	24	24	24	24	24	24	24	23	22	22	
開所日数(日)	22	22	22	20	22	22	22	22	22	21	20	22	259
延通所者数(人)	408	399	403	343	329	376	378	388	359	331	338	372	4424
1日平均利用者人数(人)	18.5	18.1	18.3	17.1	15.0	17.1	21.2	17.6	16.3	15.8	16.9	16.9	17.4
利用率(%) (1日平均利用者/登録者)	77.0	75.4	76.2	71.2	62.5	71.2	78.5	73.3	67.9	68.7	76.8	76.8	72.9

※7/28(木)コロナウィルス感染症陽性者1名、7/30(土)1名発症のため7/29・30施設閉所する
(保健所の指示により)

その他に感染者は出なかったため、8/1(月)より施設再開する。

5、年間行事

No.	行事名	開催日時	実施場所	参加者数
1	お花見	4/23	加護坊山(田尻)	利用者17名
2	芋煮会	11/19	集楽館(鹿島台船越)	利用者18名
3	クリスマス会	12/24	集楽館(鹿島台船越)	利用者12名
4	初詣	1/4	山神社(美里町小牛田)	利用者15名

6、職員（職員構成：令和5年3月31日現在）

施設長	常 勤 1名
サービス管理責任者	常 勤 1名
生活支援員	常 勤 4名 非常勤 1名
医師	非常勤嘱託 1名

7、緊急時の対応

(ア) 防災計画に基づき、防災訓練（避難訓練 9/3・11/9 年 2回）を実施し、非常時に備えた。

(イ) 洪水避難訓練(12/17)を実施している。

令和4年度グループホームぼーのぼーの 事業報告

1、施設概要

所在地	宮城県大崎市鹿島台船越沖鍋田80番地
利用定員	7名
設置主体	社会福祉法人チャレンジドらいふ

2、本事業所の支援理念

ノーマリゼーションの理念を基本に、利用者の人権を尊重し、心身の自立を目指すとともに利用者ひとり一人の意思が決定できるよう支援に努めた。又社会の一員として地域において心豊かに生活することができるよう支援に努めた。

3、事業内容

(1) 個別支援

- ・個別支援計画を基に、入居者の障害特性や性格に応じて、それぞれの自立に向けたサービスを提供した。

(2) 日常生活支援

- ・個人の障害特性や状況に応じて、排泄、入浴や通院等の身体介護を含む日常生活に必要な支援を行った他、生活能力の向上（それぞれの自立）に向けた支援に努めた。
- ・健康状態を日々確認するとともに、栄養バランスの取れた献立作成及び食事の提供及び服薬管理を行った。
- ・コロナ禍において、利用者、職員ともに手洗い、うがい、消毒、検温の徹底、不要不急の外出を控え、コロナウィルス感染予防に努めた。
- ・体育館の健康ジムを活用し、運動不足の解消や、体力づくりに努めた。

(3) 関係機関、職場との連携

- ・ご家族、相談支援事業所や通院先、通所先、財産管理等の関係機関等との連絡調整を行った。

(4) 利用者及び家族に対する相談支援

- ・生活、余暇、財産管理、心身の不調等の様々な相談に対して、必要に応じた支援を行った。

(5) 余暇関連

余暇活動	活動日	内容
誕生会	該当月	入居者全員でお祝い 利用者7名
クリスマス会	12/24	季節行事を楽しむ 利用者6名
ひな祭り	3/3	季節行事を楽しむ 利用者6名
季節の作品作り	該当月前月	クリスマスリース作りや折り紙の雛飾りなど

4、主たる利用者の状況（令和5年3月31日現在）

入居者6名

① 利用者障害支援区分

区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
0名	1名	3名	0名	2名	0名	0名

② 入居状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用契約者数(人)	7	7	7	7	7	7	7	7	7	6	6	6	
開所日数(日)	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
延入居者数(人)	209	210	206	209	211	201	185	179	172	160	168	183	2293
1日平均利用者人数 (人)	6.9	6.7	6.8	6.7	6.8	6.7	5.9	5.9	5.5	5.1	6	5.9	6.2
利用率(%) (1日平均利用者/登録者)	98.5	95.7	97.1	95.7	97.1	98.7	84.2	84.2	78.5	85.0	85.7	84.2	90.3

5、事業担当職員（職員構成：令和5年3月31日現在）

管理者	常勤 1名（兼務）
サービス管理責任者	常勤 1名（兼務 1名）
生活支援員	常勤 1名 非常勤 1名（兼務）
夜勤従事者	非常勤 3名(専従) 2名(兼務)
世話人	非常勤 8名(兼務)

6、緊急時の対応

- (ア)防災計画に基づき、防災訓練（避難訓練 9/10・11/28 年2回）を実施し、非常時に備えた。
 (イ)洪水避難訓練(3/14)を実施している。

令和4年度（相談支援事業所）マリアージュ仙台 事業報告

1、施設概要

所在地	仙台市青葉区本町3丁目5-22 管工事会館5F
利用定員	なし
設置主体	社会福祉法人チャレンジドらいふ

2、本事業所の支援理念

近年、利用者の「自己決定支援」に対する取り組み方が再び見直されてきている。当事業所としては、ノーマリゼーションの理念を基本に、利用者の人権を尊重し、心身の自立を目指すとともに、利用者一人ひとりの意思が決定できるよう支援に努めた。そして彼らのストレングスが十分に生かされるよう、環境改善も意識し、働きかけを行った。又、社会の一員としてさらに地域住民として地域において心豊かに生活することができるよう支援に努めた。

3、事業内容

- (1) 計画相談支援の提供（アセスメント、利用契約等含む）
- (2) サービス等利用計画の作成
（アセスメント、計画案作成、サービス担当者会議、計画作成・提出～一連の計画業務）
- (3) 継続サービス利用支援（モニタリング）
（モニタリングの実施、報告書の作成）
- (4) 利用者負担額等の受領事務
- (5) 支援費請求事務
- (6) 利用者からの相談・苦情処理に関する業務（基本相談として）等

4、主たる利用者と利用者の状況（令和5年3月31日現在）

- (1) 登録者数 283名（うち児童35名含む）
- (2) 利用者障害支援区分

区分なし	うち児童	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
95名	うち34名	7名	49名	45名	39名	30名	19名

3) 契約状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新契約者数	2	0	0	5	2	0	0	1	1	2	1	1	15
計画作成	23	25	15	22	32	26	37	24	24	28	23	54	333
継続支援	78	79	87	76	58	75	84	77	74	84	89	67	928

5、年間行事（職員動き）

月	開催・参加・販売行事	開催日時	参加対象	主な内容
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
1				
2				
3				
ー備考ー ○サビ管連絡会議（隔月回実施） ○AKG（毎月第三水曜日） ○サポネットあおば(毎月1回)				
○「チーム仙台」（年4回実施） ○若林相談連絡会隔月開催 ○泉区よめごと会議隔月開催				

6、事業担当職員（職員構成：令和5年3月31日現在）

所長（管理者）	常勤 1名（兼務）
相談支援専門員	常勤 2名(兼務)
相談員	常勤 0
事務員	常勤 1名（兼務）

7、緊急時の対応

- ① 防災計画に基づき、防災訓練（避難訓練）を実施し、非常時に備えた。
- ② AEDを含む救命に関するDVDによる視覚研修を実施し、緊急時に備えた。

令和4年度（相談支援事業所）マリアージュ若林 事業報告

1、施設概要

所在地	仙台市若林区卸町東2丁目5-16 フォレスターナ若林内
利用定員	なし
設置主体	社会福祉法人チャレンジドらいふ

2、本事業所の支援理念

近年、利用者の「自己決定支援」に対する取り組み方が再び見直されてきている。当事業所としては、ノーマライゼーションの理念を基本に、利用者の人権を尊重し、心身の自立を目指すとともに、利用者一人ひとりの意思が決定できるよう支援に努めた。そして彼らのストレングスが十分に生かされるよう、環境改善も意識し、働きかけを行った。又、社会の一員としてさらに地域住民として地域において心豊かに生活することができるよう支援に努めた。

3、事業内容

- (1) 計画相談支援の提供（アセスメント、利用契約等含む）
- (2) サービス等利用計画の作成
（アセスメント、計画案作成、サービス担当者会議、計画作成・提出～一連の計画業務）
- (3) 継続サービス利用支援（モニタリング）
（モニタリングの実施、報告書の作成）
- (4) 利用者負担額等の受領事務
- (5) 支援費請求事務
- (6) 利用者からの相談・苦情処理に関する業務（基本相談として）等

4、主たる利用者と利用者の状況（令和5年3月31日現在）

(1) 登録者数 32名（児童6名含む）

(2) 利用者障害支援区分

区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	児童
7名	0名	2名	2名	6名	2名	7名	6名

(3) 契約状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計画作成	0	2	1	1	3	4	8	5	5	5	2	0	36
継続支援	7	8	9	6	3	4	3	4	3	5	6	5	63

5、年間行事（職員動き）

月	開催・参加・販売行事	開催日時	参加対象	主な内容
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
1				
2				
3				
ー備考ー ○「チーム仙台」（年4回実施） ○「若林区相談支援部会」（月1回～第4水曜日）				

6、事業担当職員（職員構成：令和5年3月31日現在）

所長（管理者）	常勤 1名（兼務）
相談支援専門員	常勤 2名（兼務）
相談員	常勤 0名
事務員	常勤 1名（兼務）

7、緊急時の対応

- (ア) 防災計画に基づき、防災訓練（避難訓練）を実施し、非常時に備えた。
- (イ) AEDを含む救命に関するDVDによる視覚研修を実施し、緊急時に備えた。

令和4年度 障害福祉サービス事業所やまどり（2事業所共通）事業報告

1、施設概要

所在地	群馬県吾妻郡長野原町大字与喜屋1624
利用定員	生活介護事業10名、就労継続支援B型事業所10名
設置主体	長野原町
運営団体	社会福祉法人チャレンジドらいふ

2、本事業所の支援理念

ノーマライゼーションの理念を基本に、利用者の人権を尊重し、心身の自立を目指すとともに、利用者ひとり一人の意思が決定できるよう支援に努めた。又社会の一員として地域において心豊かに生活することができるよう支援に努めた。

3、事業内容

(1) 個別支援

① 就労支援活動(受託作業や販売、施設外就労等)を通し、一人ひとりの自主性・自発性の向上に努めた。

(2) 日常生活支援

① 日常生活面では、日々使用する挨拶を朝の会で唱和し、社会人として必要な基本的マナーの習得に努めた。

(3) 受託・生産活動支援

- ① 受託作業においては、その中心であるまんじゅう箱の箱折り、(株)クジオールのくじ折り、にしあがつま福祉会からの清拭たたみ、ごみ回収作業を主な作業とし収入につなげた。
- ② 国立療養所栗生楽泉園の清掃、長野原町役場の洗車作業を実施し収入につなげた。
- ③ 長野原町特産の花豆、トウガラシ、ねぎ等の栽培・販売を行い収入につなげた。
- ④ 新たな受託作業として、電気部品の組み立てを行い収入につなげた
- ⑤ 工賃支給規程の見直しを図り、月々の工賃支給に加え、6月、12月、3月に手当を支給することができた。その結果、就労継続支援B型においては2万円を超える工賃を支給することができた。

(4) 利用者及び家族に対する相談支援

① 個別支援計画作成時の面談や必要に応じた面談に多くの時間をかけたことで、家族との信頼関係アップにつなげることができた。

(5) 余暇関連

余暇活動	活動日	主な活動内容
ダンスダンス	毎月1回(金曜日)	運動等による機能訓練の維持と体力の増強に努めた
アトリエ教室	毎月1回(金曜日)	様々な道具を使用して、季節ごとの工作を中心に実施した
誕生会	毎月	誕生者にはクッキーのプレゼントをお渡ししながら、皆さんでケーキを食した

4、主たる利用者と利用者の状況（令和5年3月31日現在）

(1) 登録契約者数 生活介護 13名、就労継続支援B型13名

(2) 利用者障害支援区分

区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
2名	0名	8名	8名	7名	1名	0名

(3) 通所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用契約者数(人)	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	26	323
開所日数(日)	22	20	22	21	22	21	22	21	13	21	20	23	248
延通所者数(人)	455	415	509	463	470	457	498	454	270	443	432	505	5371
1日平均利用者人数(人)	20.7	20.7	23.1	22.1	21.4	21.8	22.6	21.6	20.8	21.1	21.1	20.9	21.6
利用率(%) (1日平均利用者/利用定員)	103	103	116	110	107	109	113	108	104	105	105	105	108

5、主な行事

No.	開催・参加・販売行事	開催日時	内容および参加者数
1	花見	4/23(土)	外出行事(あがつま協) 利用者18名
2	クッキング教室	5/7(土)	室内行事(ホットケーキ) 利用者17名
		7/16(土)	室内行事(冷やし中華他) 利用者17名
	お楽しみ大会	8/20(土)	室内行事(ビンゴ大会、かき氷祭り)利用者19名
	クッキング	11/26(土)	室内行事(新米・豚汁) 利用者15名
	節分イベント	2/3(金)	室内行事(赤鬼・青鬼退治) 利用者25名
	ひな祭りイベント	2/3(金)	室内行事(ひな壇の前で記念写真)利用者22名
3	野反湖ドライブ	8/6(土)	季節の行事 利用者16名
	紅葉ドライブ	10/29(土)	八ツ場ダム・湖の駅見物 利用者20名
	外出行事	3/25(土)	泥流ミュージアム見学他 利用者17名
4	初詣	1/14(土)	季節の行事、湖の駅買い物 利用者18名

※予定していた行事等は、新型コロナウイルス感染防止のため中止した。

6、事業担当職員（職員構成：令和5年3月31日現在）

施設長	常勤	1名
サービス管理責任者	常勤	1名(兼務)
生活支援員(職業指導員含む)	常勤	5名 非常勤 4名
目標工賃達成指導員	常勤	1名
医師、看護職員	常勤	0名 非常勤(医師1、看護師2名)
事務員	常勤	1名(兼務)
調理員	非常勤	1名(兼務)
運転手	非常勤	2名(兼務)

7、緊急時の対応

- ①防災計画に基づき、防災訓練（避難訓練9月・3月）を実施し、非常時に備えた。
- ②緊急連絡網の見直しを実施した。

令和4年度グループホームながのほら 事業報告

1、施設概要

所在地	群馬県吾妻郡長野原町大字大津18番地—1町営坪井住宅A棟
利用定員	7名
設置主体	社会福祉法人チャレンジドらいふ

2、本事業所の支援理念

ノーマリゼーションの理念を基本に、利用者の人権を尊重し、心身の自立を目指すとともに利用者ひとり一人の意思が決定できるよう支援に努めたところです。又、社会の一員として地域において、心豊かに生活することができるよう支援に努めたところです。

3、事業内容

(1) 個別支援

- ・ 個別支援計画を基に、入居者の障害特性や性格に応じて、それぞれの自立に向けたサービスを提供したところです。

(2) 日常生活支援

- ・ 個人の障害特性や状況に応じて、排泄や入浴、通院等の身体介護を含む日常生活に必要な支援を行った他、生活能力の向上（それぞれの自立）に向けた支援に努めたところです。
- ・ 健康状態を日々確認するとともに、栄養バランスの取れた献立作成及び食事の提供、更には服薬管理も継続して実施したところであります。
- ・ コロナ禍において、利用者、職員ともに手洗い、うがい、消毒、検温の徹底、不要不急の外出を控え、コロナウィルス感染予防に努めたところではありますが、12月10日以降にコロナの陽性が判明したことから、やむなくグループホームを閉めることとなり、ご利用者様ご家族の皆様には大変ご迷惑をおかけしたところです。

(3) 関係機関、職場との連携

- ・ ご家族、相談支援事業所や通院先、通所先の関係機関等との連絡強化に努めております。

(4) 利用者及び家族に対する相談支援

- ・ 生活、余暇、心身の不調等の様々な相談に対して、必要に応じた支援を行ったところです。

(5) 余暇関連

コロナ禍ではありましたが、季節感を味合うための外出行事を随時実施したところであります。あわせて、グループホーム内での誕生会やお月見、クリスマス会など、入居者様の要望に応えた企画も実施したところであります。

4、主たる利用者の状況（令和5年3月31日現在）

入居者5名

① 利用者障害支援区分

区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
0名	0名	1名	3名	1名	0名	0名

② 入居状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用契約者数	0	6	6	6	6	6	6	7	7	7	5	5	67人
開所日数(日)	20	31	30	31	31	30	31	30	26	31	28	31	350
延入居者数(人)	0	93	140	148	139	150	161	170	123	188	141	157	1610
1日平均利用者人数 (人)	0.6	3.0	4.6	4.7	4.4	5.0	5.1	5.6	4.7	6.0	5.0	5.0	4.6
利用率(%) (1日平均利用者/登録者)	0	50.0	76.6	78.3	73.3	83.3	85.0	80.0	67.1	85.7	100	100	79.9

5、事業担当職員(職員構成:令和5年3月31日現在)

管理者	常勤 1名(兼務)
サービス管理責任者	常勤 1名(兼務)
生活支援員	常勤 2名(専従)
夜勤従事者	非常勤 1名(専従) 3名(兼務)
世話人	非常勤 5名(兼務)

6、緊急時の対応

(ア)防災計画に基づき、防災訓練を年2回を実施し、非常時に備えたところです。

令和4年度 マリアージュ長野原 事業報告

1、施設概要

所在地	群馬県吾妻郡長野原町大字与喜屋 1624 番地 障害福祉サービス事業所「やまどり内」
利用定員	なし
設置主体	社会福祉法人チャレンジドらいふ

2、本事業所の支援理念

利用者の「自己決定支援」に対する取り組み方が再び見直されてきております。当事業所としては、ノーマリゼーションの理念を基本に、利用者の人権を尊重し、心身の自立を目指すとともに、利用者一人ひとりの意思が決定できるよう支援に努めたところであります。

利用者様一人ひとりのストレングスが十分に生かされるよう、環境改善をも意識し、働きかけを行ったところであります。

又、社会の一員として、さらに地域住民として地域においても心豊かに生活することができるよう支援に努めたところであります。

3、事業内容

事業所としましては、週三日の事業所開設ではありますが、以下の事業に取り組んだところであります。

- (1) 計画相談支援の提供（アセスメント、利用契約等含む）
- (2) サービス等利用計画の作成
（アセスメント、計画案作成、サービス担当者会議、計画作成・提出～一連の計画業務）
- (3) 継続サービス利用支援（モニタリング）
（モニタリングの実施、報告書の作成）
- (4) 利用者負担額等の受領に係る事務
- (5) 支援費請求に係る事務
- (6) 利用者からの相談・苦情処理に関する業務（基本相談として）等

4、主たる利用者と利用者の状況（令和5年3月31日現在）

- (1) 登録者数 13名（うち児童 0名含む）
- (2) 利用者障害支援区分

区分なし	内(児童)	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
なし	なし	なし	3名	6名	3名	1名	なし

(3) 契約状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新契約者数	2	1	1	1		1							6
計画作成	2	1	3	1	2	2	2	2			2	2	19

令和4年度 地域活動支援センターすきっぷ 事業報告

1、施設概要

所在地	群馬県吾妻郡嬭恋村三原 876 番地 11
利用定員	なし
設置主体	社会福祉法人チャレンジドらいふ

2、本事業所の支援理念

利用者の「自己決定支援」に対する取り組み方が再び見直されてきております。当事業所としては、ノーマリゼーションの理念を基本に、利用者の人権を尊重し、心身の自立を目指しながら、利用者一人ひとりの意思が決定できるよう支援に努めたところであります。

通所される方々一人ひとりが楽しみながら、段階的に「心・技・体」のバランスを整え、社会の中で主体的にチャレンジできるよう、その基礎固めを目指して支援してきたところです。

3、事業内容

事業所としましては、以下の事業を実施したところであります。

- (1) 身体機能の維持や向上を目的とした「機能訓練」
- (2) コミュニケーションや対人関係のトレーニングを目的とした「社会適応訓練」
- (3) 日常生活の向上を目指した「自立訓練」
- (4) 社会参加に必要な就労や基礎的技能の向上を目指した「スキルアップ訓練」

4、主たる利用者と利用者の状況（令和5年3月31日現在）

(3) 契約状況

月別開所日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度通所者数	22	22	22	22	17	18	20	20	20	13	18	22	236日
令和4年度通所者数	174	171	192	184	144	126	159	151	145	101	145	185	1877人
月別開所日数	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	20	22	262日
令和3年度通所者数	172	181	185	154	155	155	161	194	199	188	174	190	2108人

令和4年度1日あたりの利用人数 7.95人

令和3年度1日あたりの利用人数 8.04人

主な要因は、コロナ陽性者により「すきっぷ」8月から9月さらには1月と3期間にわたり休館したことが主な要因であります。

5、今後として以下の課題があげられます。

- (1) 令和5年5月8日からのコロナ罹患者の対応が第2類から第5類にシフトされた際の陽性者の扱いをどうするか。
- (2) マスクについて今後も着用するかどうか。
- (3) 年数、走行距離等を考慮し、送迎車両をどう確保するか。
- (4) 令和5年度が指定管理最終年度となることから今後をどうするか。